

# 令和元年度病害虫発生予察 警報 第1号

令和元年9月13日  
長崎県病害虫防除所長

病害虫名 トビイロウンカ

作物名 普通期水稻

トビイロウンカについては、令和元年9月3日付け注意報、9月10日付け速報で本虫の発生状況及び防除について発表したところですが、その後の調査においても、発生が多く寄生密度が非常に高い圃場が見られています。

現在の発生状況から、坪枯れの発生がさらに増加することが予想されるため、9月中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めた場合には早急に防除するようお願いします。

1. 発生地域（対象地域） 県内全域

2. 発生程度 多

### 3. 警報発令の根拠

- (1) 9月前期の巡回調査（84筆）の結果、株当たり虫数が2.7頭（平年 0.7頭）、発生圃場率は66.7%（平年 57.0%）で、警報を発表した平成21年並みの発生状況になっており（図1、2）、早急に防除を要する圃場がみられた（表1）。
- (2) 増殖力のある短翅型雌成虫率が53.2%と平成21年並みに高く、今後、急激な増殖が懸念される。
- (3) 坪枯れの発生は9月前期の巡回調査や各振興局からの聞き取りにより確認しており、平年より発生時期が早い。
- (4) 気象予報（福岡管区气象台、令和元年9月12日発表）によると、向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

### 4. 防除対策

- (1) 本虫は出穂期以降、急激な密度上昇により収穫期頃に大きな被害を及ぼすため、圃場での発生状況を確認し、9月中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めた場合には早急に防除を行う。
- (2) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、防除を行った圃場でもその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に行う。
- (4) すでに坪枯れが発生している圃場では被害の拡大を防ぐため早急に防除する。また、多発生圃場で水稻が収穫可能な時期に達している場合はできるだけ早めに刈り取る。
- (5) 収穫時期が近いので、薬剤の散布時期に注意し使用基準を厳守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチも含め周辺動植物等への飛散などによる影響がないよう十分注意する。

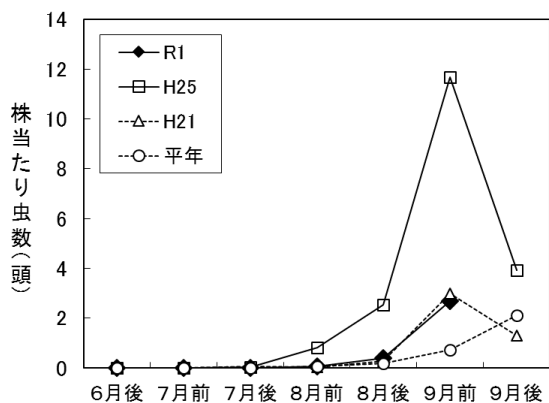


図1 株当たり虫数の推移

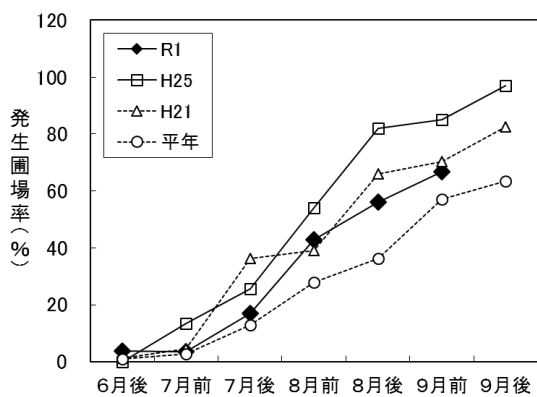


図2 発生圃場率の推移

表1 普通期水稻におけるトビイロウンカ発生状況

(上段:圃場数、下段:(圃場率%))

区分		トビイロウンカの株当たり虫数(頭)				
		0	0~1未満	1~5未満	5~20未満	20~
振興局	県央	17 (53.1)	14 (43.8)	1 (3.1)	0	0
	島原	6 (30.0)	13 (65.0)	1 (5.0)	0	0
	県北	0	7 (43.8)	5 (31.3)	2 (12.5)	2 (12.5)
	五島	2 (33.3)	4 (66.7)	0	0	0
	壱岐	1 (16.7)	2 (33.3)	2 (33.3)	1 (16.7)	0
	対馬	3 (75.0)	0	1 (25.0)	0	0
圃場数計 (圃場率%)		29 (34.5)	40 (47.6)	10 (11.9)	3 (3.6)	2 (2.4)

○水稻穂吸汁性カメムシ類防除のため水田に散布する殺虫剤により、「蜜蜂」に被害が生じる可能性がありますので、十分な配慮をお願いします。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」

アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

